

視察報告

1128年8月24日(水)

調査項目

スポーツ振興の取り組みについて

内容

県立下関武道館 (下関市)

目的

下関市でも以前より武道連盟から再三武道館建設の要望が出されており、議会でも何度か議論があったが、ある程度規模の大会が開催できるような武道館の建設は本市に困難な状況にある。一方で下関市でもハートフル大会が開催の併設型の武道館があるということや、幅広い用途と多様な競技が行えるような武道も充実していること、ひとつのモデルとして参考になるようなところがあることなど、調査を行うものである。

質疑応答

事前に調査項目を下関市に通知し、答えと資料を頂いて説明を受けた。(添付資料参考)

所感

平成23年に50歳から10年間のPF方式で県が整備したもので、年間のランニングコストが約3200万円である。武道館はあくまで、相撲や柔道などの武道競技の開催を主とするスペースの確保が主であり、メインアリーナは量を確保して柔道等の大会を行う(当日のアーチェリーやハートフルの開催は行わない)という方針で常設で用意している。大規模な大会を開催する(これは本市の目指している方向性)としても、量を出し入れに多大なコストがかかることが、自然のハートフル等の武道以外の競技の開催が困難であることが分かった。量や常設ではなく、一定の大会規模の武道館を現在のスポーツセンターに作ることで、全体的にも兼ねて総合スポーツ公園(しかもアフレコ等)とする。時にはカカカ、その必要性を訴えていた。おかしなことに集約が一方で、他のスポーツ施設は現状維持、もしくは廃止等もあると分かっていて、さらに選定も策中である。時々のカカカでも全体的な折衝の総合的な検討を必要としている。

青木 義雄

利益項目 尺寸・形状の取り組み

11 内容 下関海響マリンの取組 (下関市)

国的
 海峽をたんにエニソー開始と同時に申し込め(ネット)で終了
 (7. 小沢が数分で終切に達するといふ。今日でも有るフルライン
 大会にて有るあり。経済効果も多大であると推察される。同市
 でも一時勘。フルラインをいふ声も上がったが。実現に至っていない
 一般市民でも取上げたこともある。しかしかなり苦難や障害もあつた
 ところであらう。同市でも今日困難がたはるが。いざフルライン
 大会。もしは少し遅れる大会をでせうもつか。その影響をいふ

質疑応答 事前には、説明項目を送り、回答と説明と資料を頂戴。
(添付資料参考)

所裁

ランネット 全司3位で昇つた海軍エリニは今年
エリニ開始と同時に申込みが殺到してネット達9000人が
先着で開始がわづか56分で9000人達3250人入りの高
マウンティングであつた。驚くべきことであつた。

マウインとあってあり。多しやがたあり。
当初 5000ト規模で予定も 9000ト同くふいかとスタート
今日 参考は倍以上。予定 1/2 4000ト弱といたしてまで
になつてゐる。ニエで継続して至か 1/2 倍者の倍のたまで
あり。市民と一付してあるアツアツの形でも 3/4 くらい。相当
大差である。たか 2/3 あり2/3 もいへば結果 現在に至つては
5/6 くらい。決断してつてある。同市では マシンをカクレ
今に至つては 1/2 くらい。事当り残るである。リーフの決断が左右の
列に大いに及ぼしてある。同大に及ぼしてある。同大に及ぼしてある
は決断あり

寺本 義雄

青木義雄

大分市

参輝会 福田 文治

視察事項 大分駅周辺総合整備事業について

所感

駅南口

今まで利用価値の少ない南口に「大分いこいの道」大分駅と美術館がある上野の森を結ぶ幅員100m、延長440m、2万㎡の芝、植樹を市民が植え管理等も四民ボランティアを含む団体で実施されている。市民の愛着醸成に有効な手段である。利用はイベントで17万人／年あり有料利用もあり管理費の一部となる等アイデアが盛り込まれている。

また駅前には複合文化交流施設、情報文化新都心の中核拠点施設が建設され会議室、図書館、子供ルーム、トレーニングルーム、キッチンスタジオ、ホール等が整備され多くの市民に利用されている、各施設の利用状況は高齢者、中年層、若者、子供等世代によって利用場所も違い利用率も違っており将来を見据えた施設、利用を変更しても良い様な造りが必要である。

歩行者優先の駅前広場にはミスト噴水が噴き子づれの家族が多く楽しんでいた、本市の駅前にも若い子連れのお母さんたちの癒しの空間として設置が望まれる。

駅北口

鉄道高架による、南北の南北への通行が多く有り、駅前は歩行者優先で、広々とした空間が有り、大友宗麟、ザビエルの銅像、南蛮世界地図等大分の歴史も十分に味わえる開発であると思う。

駅ビル内通路では飲食店が並び昼間でも多くの利用者が集まり、駅ビル入館者目標1100万人／年を大きく上回り2420万人／年、売上高も目標200億円／年が224億円と伸びており、駅周辺総合整備の成果は十分出ている。

人口48万で県庁所在地ということも有るのかもしれないが本市も人口規模に似合った賑わいを駅周辺整備で叶えたいものである。